

## 会 議 要 旨

会 議 の 名 称	令和3年度 第1回川越市文化財保存活用地域計画策定協議会
開 催 日 時	令和3年11月1日(月) 午後2時 開会 ・ 午後3時30分 閉会
開 催 場 所	4A会議室
議 長 ( 会 長 )	落合座長
出席委員(人数)	栗原副座長、原委員、中村委員、大久根委員、守山委員、根岸委員、 内田委員(代理出席)、土屋委員、田中委員、福釜委員、田中委員 (座長含め12名)
欠席委員(人数)	(0名)
傍 聴 者	0名
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会 挨拶 川越市教育委員会教育長 新保 正俊</li> <li>2 自己紹介</li> <li>3 座長選出</li> <li>4 報告 (1) 文化財保存活用地域計画の概要について (2) 川越市文化財保存活用地域計画のスケジュールについて</li> <li>5 議事 (1) 川越市文化財保存活用地域計画の概要について</li> <li>6 その他</li> <li>7 閉会</li> </ol>
そ の 他	

## 議事の経過

## 報告

## (1) 文化財保存活用地域計画の概要について

(事務局より説明)

- ・未指定も含めて地域の文化財を、地域総がかりで守る計画。
- ・この計画を文化庁が推進する背景に、文化財の存続危機がある。所有者が高齢化、地域の過疎化、コロナで人が集わなくなったなどの理由のため、祭り等の存続が危うい。
- ・以前は悉皆調査が前提であったが、地域計画では計画の認定後も調査を続ける計画を立てられる。
- ・策定後、計画の進捗を確認する協議会をたちあげる予定。

## (2) 川越市文化財保存活用地域計画のスケジュールについて

(事務局より説明)

- ・今年度は文化庁の補助金（地域文化財総合活用推進事業に係る補助金）を使い、2調査を実施（予定）している。
  - ①旧名細村と旧大東村の公文書を整理。
  - ②『川越の石佛』出版から約50年たったこともあり、川越市の石仏再調査を実施予定。
- ・座学→フィールドワーク→発表という形式をとり、地元民の大事なものを見つけていく講座を実施する予定。
- ・令和5年にシンポジウムを計画している。
- ・川越市文化財保存活用地域計画は、令和5年12月認定を予定。
- ・川越市文化財保存活用地域計画は、令和6～15年の10年間を計画年数にする予定。
- ・地域計画は途中経過を文化財保護審議会に報告し、諮問答申の後、パブリックコメントを行う予定。

## 議事

## (1) 川越市文化財保存活用地域計画の概要について

(事務局より説明)

- ・川越市の歴史文化を示すキーワードを説明。
- ・キーワードをムラ・マチ・ミチの3類型で分類。
- ・これらを基に川越市の歴史文化に4つのストーリーを作り、さらに関連文化財群及び重点保存地区を挙げる。

## 【意見・質疑応答】

キーワード、関連文化財群等を後日文面で各委員から事務局に意見を提出する。